



新年あけましておめでとうございます。地域の皆様をはじめ、多くの方のご協力により、トキの野生復帰12年目を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

東京オリンピックが開催される2020年、一体どんな年になるのでしょうか。人にとっても、トキにとっても、よい1年となりますように。

本年もよろしくお願いいたします。

◀ 飛翔するトキ。「とき色」が美しいです。

■佐渡島内のトキの動き（2019年12月）

➤ 繁殖期がやってきた！

12月中旬頃より、野生下のトキの羽色変化が確認されるようになりました。トキは繁殖期に入ると、首のまわりからはがれ落ちる黒い物質を、水浴びの際に頭から背中にかけてこすりつけ、色を変えます。このような羽色変化は、世界で約10000種いる鳥類のなかでもトキだけに見られます。

➤ 寒くても食事は欠かせない！

雪が積もるような寒い日も、トキは長いくちばしを器用に使ってエサを探します。トキのくちばしは緩やかにカーブしており、くちばしの鋭い感覚により、水や泥の中でエサを見つけ出します。

➤ 放鳥トキの死亡について

12月15日に羽茂地区でNo.240(2014年野生復帰ステーション生まれ、5才・メス、第13回放鳥)、19日に同地区でNo.356(2015年いしかわ動物園生まれ、4才・オス、第20回放鳥)の死体を確認されました。



▲羽色変化したNo.95



▲うっすら雪の積もる畦で採餌するNo.156を含むトキ3羽

■トピック ～第1回放鳥トキ・No.11～

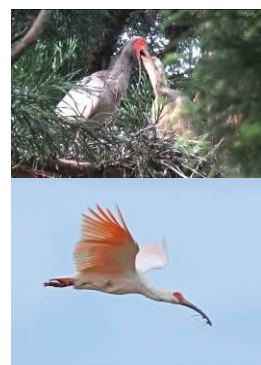


トキの野生復帰が始まって11年にちなみ、放鳥トキ・No.11をご紹介します。2008年・第1回放鳥唯一の生き残りであるNo.11(14才・オス、野生下では最高齢)は、2018年に初めて繁殖を成功し、2019年は2羽のヒナを巣立ちさせました。

多くの方の思いをのせて放鳥されたNo.11。2020年も引き続き、元気でいてくれることを願います。

◀ 2008年に撮影されたNo.11

2018年に撮影されたNo.11 ▶



■生息範囲ごとの個体内訳（12月23日時点） ～島内に426羽程度、本州に0羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・金井地区	166羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 143 161 170 174 177 179 204 205 207 209 213 221 241 242 248 249 251 254 255 257 288 289 293 295 296 303 310 318 323 324 326 344 345 346 348 352 354 355 357 360 361 367 368 383 385 386 387 388 390 391 A09 A13 A16 A18 A19 A32 A34 A43 A48 A50 A59 B02 B03 B07 B15 B35 B38 B42 B43 B45 B51 B61 B68 B69 B74 B78 B81	25 93 95 97 114 120 134 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 220 224 232 234 237 258 266 268 272 274 275 277 313 314 327 330 334 335 372 374 375 379 384 A04 A10 A21 A26 A44 A47 A54 A62 B01 B05 B10 B11 B13 B18 B23 B24 B25 B26 B32 B34 B39 B44 B50 B56 B58 B71 B79 B82 B90 B91	140羽
真野・畑野・佐和田・相川地区	62羽	68 74 206 212 216 250 252 261 263 308 349 358 A22 A25 A28 A35 A38 A39 A40 A53 A60 B14 B16 B21 B30 B36 B52 B55 B60 B62 B63 B66 B67 B80 B88	38 66 96 201 218 223 227 239 265 276 311 312 371 A01 A03 A11 A36 A37 A45 A58 B20 B37 B41 B64 B72 B75 B84	
小木・羽茂・赤泊地区	32羽	11 84 86 90 211 238 246 290 291 294 307 317 320 392 B31 B33 B47 B48 B86 B89 B95	69 79 273 284 328 333 A24 B29 B49 B65 B94	
本州	0羽			0羽
居場所不明	26羽	138 172 244 298 359 362 363 364 365 366 378 382 389 B06 B77 B93	331 370 376 377 380 B53 B70 B76 B87 B92	
計	426羽	162羽	124羽	140羽

※No.373,B85 が行方不明扱いになりました。※A・B から始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

■トキに関するニュース

12月8日 野生のトキが確認されている真野地区の保安林で、健全な森林を保つための森林整備作業が地域の皆様によって実施されました。

■1月 会議・イベントのお知らせ

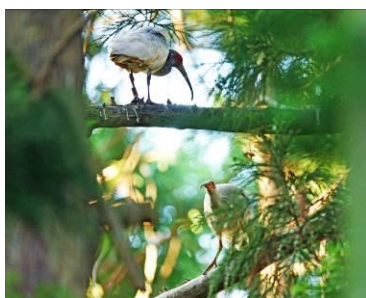
1月15日 佐渡市主催「令和元年度トキガイド養成講座」の一環として、18時半よりトキ交流会館にて、当事務所より「トキの野生復帰の取組」についてお話しします。

1月26日 「片野尾公民館大会」が、10時より片野尾ふるさと館にて開催されます。



▲昨年のトキガイド養成講座の様子

■2019年を振り返って



▲木に止まる No.181 と幼鳥



▲第21回放鳥(ハードリリース)

2019年は佐渡島内の野生トキの推定個体数が400羽以上となり、また日本産最後のトキが生息していた片野尾地区で放鳥を行いました。多くの方に支えられていたからこそ、トキ野生復帰の歩みを進めることができた1年です。佐渡のように、人と自然が共生する社会を次世代に残していけるよう、2020年も精進してまいります。

発行者:環境省 佐渡自然保護官事務所(0259-22-3372)

トキのみかた

- ①トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③車から降らずに観察しましょう。(ただし、通行の妨げにならないようにしましょう)
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期(2月～6月)は、巣に近付かないようにしましょう。





日本各地で暖冬が話題となっています。佐渡も例年より雪が少なく、冬景色が少し恋しいと感じてしまう日々です。トキの目には、この冬がどう映っているのでしょうか。

枯れ木に止まる No.B34。
見つめる先には何があるのでしょうか。▶



■佐渡島内のトキの動き（2020年1月）

➤ 愛を育む季節

この時期になると、気になる相手にくちばしで小枝などを渡す「枝渡し」や、お互いに羽づくろいをする「相互羽づくろい」などの求愛行動が見られます。特定の相手とだけでなく、複数の相手と求愛行動をすることもあります。

➤ 2020年こそ！

トキは、長年同じ相手とペアになる個体や、繁殖期間中にペアを変える個体もいます。右の写真は、ともに第5回放鳥トキで、2013年からペアを形成しているNo.87(佐渡トキ保護センター生まれ、11 オオス)と97(多摩動物公園生まれ、10 オメス)ですが、まだ繁殖に成功していません。今年こそ待望のヒナが生まれますように…！



▲刈田で採餌する No.87、97

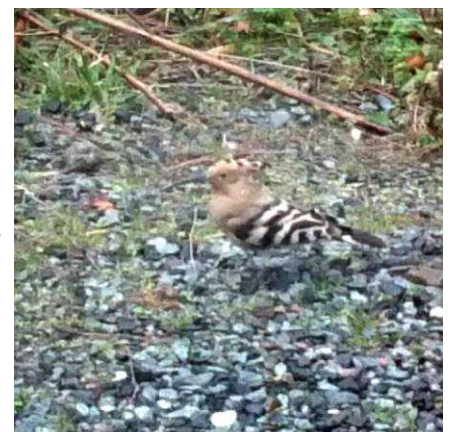
➤ 放鳥トキの死亡について

1月18日に羽茂地区で第18回放鳥のNo.317(2014年いしかわ動物園生まれ、6 オオス)が死亡しているのを確認しました。死因は猛禽類に襲われたことによるものと考えられます。

■トピック ～珍鳥「ヤツガシラ」飛来～

1月28日、トキのモニタリングボランティアをしている山本ひとみさんの目の前に、見慣れない野鳥が舞い降りました。頭部に、広げると扇のような見事な羽を持つ渡り鳥、「ヤツガシラ」でした。佐渡では、1983年2月に真野地区四日町で初めて記録されて以来、春の渡りの時期に毎年確認されるようになりました。(日本野鳥の会佐渡支部(2015)、トキの島の野鳥 佐渡島鳥類目録、pp.100.)

ヤツガシラはアフリカ、ヨーロッパ南部から中国にかけて、広い範囲に分布していますが、日本で確認される個体は多くありません。佐渡島でも、長くとどまることなく、すぐに渡って行ってしまうため、なかなか見ることはできません。日頃から自然に目を向けているボランティアさんだったからこそ発見できたのでしょう。



▲山本ひとみさん撮影

■生息範囲ごとの個体内訳（1月27日時点） ～島内に406羽程度、本州に0羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・金井地区	182羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 143 161 170 174 177 179 204 205 207 209 211 213 216 221 241 242 248 249 251 252 254 255 257 263 288 293 296 303 310 318 323 324 326 344 345 346 348 354 357 360 361 362 364 365 366 367 368 385 386 387 388 390 391 A09 A16 A18 A19 A22 A34 A43 A48 A50 A53 A59 A60 B02 B03 B06 B07 B15 B16 B35 B36 B38 B48 B51 B52 B55 B61 B69 B74 B78 B80 B81	25 93 95 97 114 120 134 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 224 232 234 237 239 258 266 268 272 274 275 277 313 314 327 330 334 335 371 372 374 375 379 384 A01 A04 A10 A24 A26 A36 A37 A47 A54 A58 A62 B01 B05 B11 B13 B18 B20 B23 B24 B25 B26 B32 B34 B39 B41 B44 B50 B56 B71 B72 B75 B79 B82 B87 B90 B92	124羽
真野・畑野・佐和田・相川地区	53羽	68 74 86 206 212 250 289 291 308 349 355 358 383 A13 A25 A28 A32 A35 A38 A39 A40 B14 B21 B30 B33 B42 B43 B60 B62 B63 B66 B67 B68 B88	38 66 96 201 223 227 265 311 312 A03 A11 A21 A45 B37 B58 B64 B70 B84 B91	
小木・羽茂・赤泊地区	25羽	11 84 90 238 246 290 294 307 320 392 B31 B47 B86 B89 B95	69 79 273 284 328 333 B29 B49 B65 B94	
本州	0羽			0羽
居場所不明	22羽	138 261 295 298 352 359 363 378 382 389 B45 B93	276 331 370 376 377 380 A44 B10 B53 B76	
計	406羽	158羽	124羽	124羽

※No. B77 が行方不明扱いになりました。※A・B から始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

■トキに関するニュース

1月15日 佐渡市主催「令和元年度トキガイド養成講座」の一環として、「トキの野生復帰の取組」について講演しました。

1月26日 片野尾公民館大会にて「トキの野生復帰」について講演しました。

1月23、24、31日 人・トキの共生の島づくり協議会主催の「トキ稲ふみに関する座談会」が下久知・大和・羽茂地区で開催されました。

■2月 会議・イベントのお知らせ

2月13、14日 新潟県長岡市にて、第17回トキ野生復帰検討会
および第3回分散飼育地等連絡会議が開催されます。

2月22日 「朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が防災センターで開催されます。



▲片野尾公民館大会



▲座談会の様子

■片野尾で放鳥したトキは今



▲飛翔するNo.386。オレンジ・青色の
アニマルマーカーがはっきりと見えます。

昨年9月27日に片野尾で10羽のトキを放鳥した第21回放鳥から4ヶ月。放鳥個体の一部は片野尾を含む前浜地区から両津地区にかけて、既存の群れと元気に生きている様子が確認されております。自然界で迎える初めての冬。たくましく乗り越えてほしいです。



枯れ木に止まる No.388 を含むトキ4羽▲

発行者:環境省 佐渡自然保護官事務所(0259-22-3372)

トキのみかた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





▲虹を背景に畦で採餌するトキ

佐渡の最高峰、金北山の雪解けも少しずつ始まり、春の空気が感じられる季節になりました。あちらこちらの林から、トキのオスとメスが鳴き合う声が聞こえてきます。忙しくも、嬉しい繁殖期の始まりです。

■佐渡島内のトキの動き（2020年2月）

➤ トキの「巣材運び」が始まる！

2月25日に今期初となる「巣材運び」が確認されました。トキは巣材となる枝や枯れ草をくちばしでくわえて運び、2週間程度かけて徐々に巣を完成させます。いよいよ繁殖期が始まりつつあるようです。

➤ No.382、約4か月半ぶりに見つかる！

昨年9月27日に片野尾で放鳥して以降、No.382は一度も観察されていませんでした。「きっと、どこかで生きているはず。」と思って、トキモニタリングチームが探し続けたところ、2月14日に両津地区で発見されました。元気な姿を見られて一安心です。



▲休耕田で採餌する No.382

➤ 放鳥トキの死亡について

2月14日に畑野地区で第12回放鳥のNo.206(長岡市分散飼育センター生まれ、8才オス)、23日に両津地区で第19回放鳥のNo.352(いしかわ動物園生まれ、3才オス)が死亡しているのを確認しました。いずれも死亡原因や死亡時期は不明です。



▲枯れ木にとまるトキの群れ

■トピック ～あなたの目撃情報がトキの野生復帰を支えます～



2019年の繁殖期には、佐渡島内の広い範囲でトキの繁殖活動が確認されました。佐渡島内のトキの繁殖状況を把握するためには、皆様からのトキ目撃情報が必要です。特に繁殖期（2月～6月）はトキ目撃情報が不足しており、たとえ小さな情報でも、トキの野生復帰において大きな手がかりとなります。

「最近、林内がさわがしい」「トキが枝を運んでいる」このようなトキの行動を見かけましたら、情報をお寄せいただけると幸いです。

トキ目撃情報フリーダイヤル 0120-980-551

トキ目撃情報入力フォーム・QRコードはこちら▶



■生息範囲ごとの個体内訳（2月27日時点） ～島内に401羽程度、本州に0羽～

生息範囲	羽数	オス	メス	性別不明 (野生生まれ)
新穂・両津・金井地区	175羽	08 23 50 67 85 87 91 92 98 106 107 110 135 143 161 170 174 177 179 204 205 207 209 211 212 213 221 241 242 248 249 251 252 254 255 257 263 288 289 293 296 303 310 318 323 324 326 344 345 348 360 361 362 364 365 367 368 382 383 385 386 387 388 390 A09 A16 A18 A19 A32 A34 A38 A43 A48 A50 B02 B03 B06 B07 B15 B35 B36 B38 B43 B48 B51 B52 B55 B61 B68 B69 B74 B78 B81 B86	25 93 95 97 114 120 148 149 154 156 157 163 181 182 183 184 190 192 199 200 203 217 218 220 223 224 232 234 237 239 258 266 268 272 275 277 313 314 327 330 334 335 371 372 375 379 384 A01 A03 A24 A26 A36 A37 A45 A54 A58 B01 B05 B10 B11 B18 B20 B23 B25 B26 B32 B34 B37 B39 B41 B50 B56 B58 B71 B72 B75 B79 B82 B84 B87 B90	124羽
真野・畑野・佐和田・相川地区	49羽	68 74 216 250 291 307 308 349 355 358 A13 A25 A28 A35 A40 A53 A59 A60 B14 B16 B21 B30 B42 B45 B60 B62 B63 B67 B80 B88 B95	38 66 96 201 227 265 311 312 A10 A11 A21 A47 A62 B13 B29 B70 B91 B92	
小木・羽茂・赤泊地区	25羽	11 84 86 238 246 290 294 320 392 A22 A39 B31 B33 B89	69 79 134 273 284 328 A04 B24 B49 B65 B94	
本州	0羽			0羽
居場所不明	28羽	90 138 261 295 298 346 354 357 359 363 366 378 389 391 B47 B66 B93	274 276 331 333 374 376 377 380 A44 B44 B64	
計	401羽	156羽	120羽	124羽

※No. 370、B53、B76 が行方不明扱いになりました。※A・B から始まる番号は野生下で生まれた個体を示しています。

■トキに関するニュース

- 2月6日 人・トキの共生の島づくり協議会主催の「トキ稲ふみに関する座談会」が沢根羽二生地区で開催されました。
- 2月13 新潟県長岡市にて、第17回トキ野生復帰検討会および第3回分散飼育地～14日 等連絡会議が開催され、長岡市トキと自然の学習館「トキみ～て」を視察しました。
- 2月22日 「朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム」が開催されました。
- 2月27日 トキの水辺づくり協議会・総会が開催されました。



▲共生座談会の様子



▲野生復帰検討会・現地視察（トキみ～て）

■3月 会議・イベントのお知らせ

3月12日 第22回放鳥個体の順化訓練を開始する予定です。

■佐渡自然保護官事務所・公式 Facebook を開設しました！



野生下のトキについて、これまで「放鳥トキ情報」で情報発信してきましたが、今後は公式 Facebook で情報発信をしていきます。これに伴い、「放鳥トキ情報」での情報発信は終了いたします。なお、「放鳥トキ情報」の過去の記事は、3月31日までの閲覧が可能です。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。

◀ QR コードはこちら！

発行者：環境省 佐渡自然保護官事務所(0259-22-3372)

トキのみがた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





トキから版



環境省
Ministry of the Environment

佐渡自然保護官事務所
TEL: 0259-22-3372

令和2年4月1日・第91号

桃や桜が咲き始め、佐渡にも春がやってきました。島内各地では、トキが枝や草などの巣材を運ぶなど、一生懸命巣造りしている様子が見られています。

佐渡島内のトキの動き(2020年4月)

今期初の営巣・抱卵を確認！

3月9日、今期初の営巣が確認されました。初営巣が確認されたペアは放鳥トキNo.23とNo.314で、このペアでの営巣は初めてです。オスとメスの年の差は、なんと12年！今後の動きに注目です。



巣を整えるNo.23(左)とNo.314(右)

そして3月25日に今期初の抱卵が確認されたのは、No.209とNo.A26ペア(両津地区)とNo.A09とNo.239ペア(佐和田地区)の計2ペア。どちらも2017年からペアとなり、今年で4年目になります。特に、No.209とNo.A26は、これまで6羽のヒナを巣立たせています。トキの抱卵期間は約1ヶ月間なので、4月中旬以降、ヒナの誕生が期待されます。



抱卵するNo.239



巣材を運ぶNo.A26(左)と抱卵するNo.209(右)

おーい、どなたかいませんか？

右の写真は第20回放鳥のNo.361(オス)。ここ最近、佐渡自然保護官事務所から見える飼育トキの繁殖ケージ周辺を1羽で飛翔する様子が観察されています。No.361にとって、今期は野生下で初めて迎える繁殖期。お相手を見つけてほしいです。

あぜで採餌するNo.361

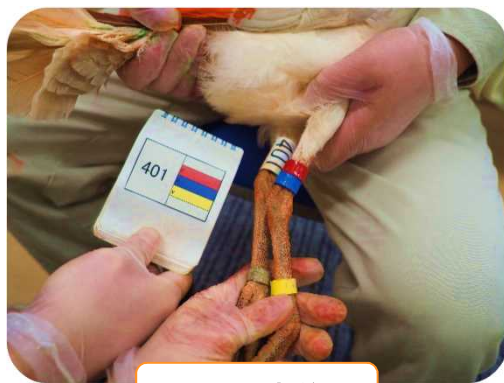


トピック① ～順化訓練が始まりました！～

3月12日、今年6月上旬頃に実施予定の第22回放鳥に向けて、飛翔、採餌等の能力を身につけるための順化訓練を開始しました。今回の訓練個体の内訳は、オス11羽・メス7羽の計18羽です。オス11羽のうち10羽に、放鳥後の飛行経路等のデータを取得するために、GPS発信器を装着しました。取得されたデータは、洋上風力発電を対象としたゾーニングマップを主体的に作成する新潟県に提供します。



GPS装着



足環装着



順化ケージへ放鳥

トピック② ～「トキのテラス」完成しました！～

4月1日、野生トキ観察・展望施設「トキのテラス」が完成しました。「トキのテラス」は、トキ野生復帰の意義・目的・成果等を広く普及啓発するために、環境省が整備した施設です。野生下で暮らすトキを適切に観察できるとともに、トキが生息する佐渡島の自然豊かな里地里山等を展望できます。オープンしましたら、ぜひお越しください！

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、屋内観察室は使用を中止しております。屋上は使用可能です。



見て楽しめる
展示もあります！

屋内観察室の様子



観察スコープで
野鳥を観察できます！

屋上の様子

トキが見られたらラッキー！

トキの
みかた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





トキから版



環境省
Ministry of the Environment

佐渡自然保護官事務所
TEL: 0259-22-3372

令和2年5月1日・第92号

佐渡では田植えが始まり、新緑の美しい季節となりました。

野生下のトキには今年も待望のヒナが誕生！9年連続のヒナ誕生です。

佐渡島内のトキの動き(2020年4月)



祝・ヒナ誕生！

4月24日、野生下のトキの2ペアで、ヒナが1羽ずつ確認されました！確認されたペアは、①No.209とNo.A26ペア(両津地区)、②No.A09とNo.239ペア(佐和田地区)で、どちらも今年最も早く抱卵が確認されていました。親鳥がヒナにエサをあたえる様子も観察されています。



ヒナに給餌するNo.209とヒナ1羽(No.209/A26ペア)



ヒナに給餌する親鳥とヒナ1羽(No.A09/239ペア)

5年連続！「純野生」ヒナも誕生

5月1日、野生下で誕生したトキ同士のペアから「純野生」トキが誕生しました！確認されたのは、足環なしのペア(両津地区)です。



ヒナ1羽に給餌する足環のない個体(足環なし、足環なしペア)

5月1日時点で、5組から計10羽のヒナが誕生しました。また、31組が抱卵中であり、今後、より多くのヒナ誕生が期待されます。

ヒナは、生まれてから約40日後に巣立ちます。元気に育ってほしいですね！

トピック① ～こちらでも巣造り開始です。～

野生のトキの繁殖が順調に進んでおりますが、そのにぎやかな空気が順化ケージにも伝わってきたのでしょうか。第22回放鳥に向けてトキの順化訓練が行われている順化ケージにて、訓練個体により巣が造られました。順化ケージ内での巣造りは、第1回放鳥以来、初めてのことです。



よく見ると、巣を造っているのはオス同士！親鳥が造った立派な巣を覚えていたのでしょうか。野生のトキになったあとも、その巣を造る力を存分に発揮してほしいです。

←巣を造った場所も順化ケージのど真ん中。大物感が漂います。

トピック② ～トキのお話をしました！～

4月21日に行谷小学校、そして23日に両津吉井小学校にて、トキの野生復帰について出前授業を行い、トキの生態や歴史、またトキが暮らす佐渡の里山は人と自然によってつくられることなどをお話ししました。トキをきっかけに、人と自然が共生する佐渡について、さらに興味をもってもらえたら嬉しいです。



もっと見て、知ってほしい！トキのこと。



佐渡自然保護官事務所 公式Twitter及びFacebook

野生下のトキの最新情報や、野生下でたくましく生きるトキの写真を掲載しています。

▼QRコードはこちら▼



アクティブ・レンジャー日記



アクティブ・レンジャーとは、自然保護官の補佐役として、国立公園や野生生物の調査などを担う環境省の職員であり、佐渡自然保護官事務所では2名が活動しています。アクティブ・レンジャーだからこそお伝えできる内容があります！ぜひご覧ください。



「関東地方環境事務所
アクティブレンジャー」
で検索！

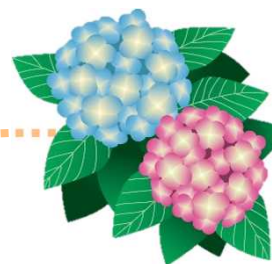
トキの
みかた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。



田んぼの水面に映る空が美しく、佐渡ではトビシマカンゾウが咲き始める時期になりました。
野生下で生まれたトキのヒナたち、今はどんな様子でしょうか？

佐渡島内のトキの動き(2020年5月)



野生下で今期初の巣立ち！



No.50,114ペア



No.A28,足環なしペア

5月25日、新穂地区で、野生下で生まれたヒナ2羽が巣立ちました！野生下では**9年連続**です。巣立ちを確認したペアは、No.50(2010年放鳥)とNo.114(2012年放鳥)で、4月27日にヒナが誕生し、5月13日にヒナに足環(No.B96,B97,B98)を装着しました。巣立ちを確認したのは、No.B96,B97の2羽です。また、相川地区で5月26日に、野生下で誕生したトキ同士のペア・No.A28と足環なし個体から「**純野生**」のヒナが巣立ちました！佐渡全体では**26ペア**から**60羽**のヒナがふ化し、**3ペア**から合計**6羽**のヒナが巣立っています(5月26日時点)。今後も多くのヒナが巣立つことが期待されます。

巣立ち後のヒナは・・・

環境省では、トキ保護増殖事業において、ヒナの巣立ちを「**両脚を巣の外に完全に出すこと**」と整理しており、巣立ち後は「**幼鳥**」と呼んでいます。



草地で採餌する親鳥と幼鳥(2019年)

巣立ち直後は、巣と近くの枝を行ったり来たりしながら、羽ばたく力をつけます。十分に飛翔できる力がつくと親鳥と一緒に地上に降り、水田などで親鳥の真似をしながら、自力でエサをとる力を身につけていきます。巣立ってから1か月程度で親元を離れます。

トピック① ～ヒナへの足環装着～

足環装着作業の様子



足環装着されたヒナの顔



環境省では、トキ保護増殖事業の一環として、5月～6月頃、野生下で誕生したヒナの一部に足環を装着する作業を行います。

まず、トキの巣まで木を登り、ヒナを捕獲します。巣のヒナを地上に降ろしたあと、獣医師が健康状態を確認し、計測や足環装着作業を行い、ヒナを巣に戻します。繁殖への影響がないように、見事な連携で作業は進みます。最後に、親鳥が巣に戻ったことを確認して、作業は終了となります。

足環装着は、個体毎の動きを解明するための重要な作業です。得られた情報は、野生復帰の取組に活かされます。

トピック② ～人とトキの共生に向けて～

5月19日に、トキの順化訓練が行われている順化ケージ内にて、田植え作業をしました。



順化ケージ内の田植え作業の様子

現在、野生復帰ステーションの順化ケージでは第22回放鳥に向けて18羽のトキの訓練を行っています。トキが野生下でも生きていけるよう、大きく4つの項目を訓練します。

①採餌 ②飛翔 ③群れ行動 ④人間活動への慣れ

田植えは「④人間活動への慣れ」を目的とした訓練の1つです。他にも草刈り等の農作業や車両などを見せます。

トキは、エサ場となる水田などの浅い水辺、ねぐらや営巣林となる森林の両方がある里地里山を主な生息地としています。「人間活動への慣れ」は、人とトキが共生していくための大切な訓練項目です。

第22回放鳥のお知らせ



3月12日より順化訓練を行ってきた18羽のトキについて、6月5日から放鳥(ソフトリリース)する予定です。放鳥の様子は、公式SNSでお知らせします。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、観察棟およびトキのテラスは閉鎖しております。



▲QRコードはこちら▲

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。(ただし、通行の妨げにならないようにしましょう)
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期(2月～6月)は、巣に近付かないようにしましょう。





トキから版

涼しかった夜も、夏らしい暑さを感じる時期になってきました。

佐渡では、野生下で生まれたヒナが次々と巣立っています。

佐渡島内のトキの動き(2020年6月)



屋根の上のトキ？



いつもは木にとまるトキが、珍しく屋根の上にあります。その正体はトキの**幼鳥**（ようちょう）。巣立ちから10日程度で、幼鳥は地上に降下します。屋根などの人工物方が木よりも安定してとまりやすいのか、この時期になると左写真のような光景が見られることがあります。

ところで、皆様はトキの成鳥・幼鳥の見分け方を知っていますか？ポイントは3つです。



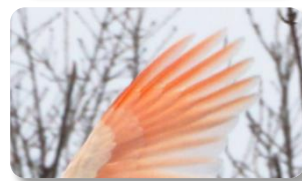
(成鳥)



(幼鳥)

①顔、眼の色・・・成鳥は赤色の顔、オレンジ色の眼をしています。一方、幼鳥はオレンジ色の顔、灰色の眼をしています。

②くちばし、冠羽・・・どちらも成鳥と比べ、幼鳥の方が短いです。



③羽の色・・・成鳥は鮮やかな「とき色」です。幼鳥は薄い「とき色」で、翼の一番外側の羽に黒色が残る個体もあります。

「いつも見るトキと違うな・・・」と感じたら、それはトキの幼鳥かもしれません。もし見かけたら、顔や羽の色をじっくり見てみてください。

最高齢のトキ



No.08



No.135

こちらは最高齢14才の放鳥トキ・No.08とNo.135です。2020年繁殖期では、No.08はヒナ3羽、No.135はヒナ1羽を巣立たせており、「子育て上手」とも言えるでしょう。これからも野生下を生きるたくましい姿を見せてほしいですね！

トピック ～第22回放鳥について～

6月5日、野生復帰ステーション順化ケージより、トキ18羽（♂11羽、♀7羽）をソフトリリース方式にて放鳥しました。当日の午前10時までに全羽飛翔し、ソフトリリース方式による放鳥では過去最短の記録となりました。GPS発信器を装着している個体も、野生下で元気にすごしていることを確認しています。



放鳥口から飛翔する様子



GPS発信器を背負うNo.396



飛翔するNo.402

また、今年9月下旬に実施する第23回放鳥に向けて、6月25日より、トキ16羽の順化訓練を開始しました。約3か月間、トキは野生下で生きていく能力を身につけていきます。



GPS発信器の装着



アニマルマーカによる着色



順化ケージへの放鳥



GPS発信器を背負うNO.411



大変長らくお待たせいたしました、 トキのテラス、全面オープン！



野生のトキを適切に観察できるとともに、佐渡の自然豊かな里地里山を展望できる野生トキ観察・展望施設「トキのテラス」が、6月19日より全面オープンしました！

屋内観察室には、野生のトキを観察できる望遠鏡のほか、トキ野生復帰の取組に関する展示、野生下のトキの映像などがあります。ぜひお越しください！



場所

佐渡市新穂正明寺1277
（野生復帰ステーションの近くです）

供用時間

（屋 上）24時間
（屋内観察室）4～11月 9時～17時
12～3月 9時～16時

※新型コロナウイルス感染症対策として、階段手すり、屋上手すりなど手指が接触する箇所は定期的に消毒しております。
※車で来られる方は、トキのテラスよりさらに坂を上った先にあります、一般駐車場をご利用ください。


トキの
みかた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。




セミの鳴き声が響くなか、巣立った幼鳥がおとなのトキの群れに混ざって一緒にエサをとる様子が見られるようになりました。今年の繁殖結果を振り返りたいと思います。

佐渡島内のトキの動き(2020年7月)



田んぼに出てきてエサを探す幼鳥



2020年の繁殖結果について (速報)

2020年7月3日、繁殖期のモニタリングで追跡していた全てのペアの繁殖終了を確認しました。今期は33組から67羽が巣立ち、野生下で誕生したペア9組から「純野生トキ」24羽が巣立ちました。



巣の上にいるヒナ2羽



細いものにも上手にとまるにも練習が必要!




親鳥からエサをもらっています。

▼2012年～2020年の繁殖結果▼

年	営巣	ふ化		巣立ち		繁殖活動終了
	ペア数	ペア数	ふ化羽数	ペア数	巣立ち羽数	
2012	18	3	8	3	8	6/21
2013	24	5	14	2	4	7/5
2014	35	14	36	11	31	6/24
2015	38	12	21	8	16	6/19
2016	53	25	53	19	40	7/8
2017	65	36	92	31	77	7/19
2018	77	32	67	27	60	7/6
2019	99(120)	37	84	33(40)	76(95)	7/16
2020	86	33	83	26	67	7/3

※2019年の括弧内の数字は最終的な繁殖結果の推定値です。

今年巣立った幼鳥を含めた野生生まれのトキの個体数は推定295羽、野生下で生息するトキ個体数は推定458羽です(2020年7月3日時点)。なお、最終的な繁殖結果は、モニタリングデータに基づき統計手法により算出した推定値として、秋頃に公表する予定です。



朱鷺と暮らす郷×田んぼアート

佐渡市では2007年からトキのエサ場の確保と生物多様性の米づくりを目的とした「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を立ち上げ、「生きものを育む農法」などによる佐渡産コシヒカリブランド「朱鷺と暮らす郷」を生産しています。人と自然が共生する取組が全国に広がってほしいですね。



2017年より始まった「朱鷺と暮らす郷×田んぼアート」は今年で4作目。今年の田んぼアートは、トキと金山の絵柄が見事です。

トピック ～繁殖期を終えて～

2012年以降、野生下では9年連続でヒナが誕生し、巣立ちました。また、野生下で生まれたペアから誕生した「純野生トキ」の巣立ちも5年連続で確認されています。ここで、2020年繁殖期を時系列でふりかえってみました。

12月23日 羽色変化



3月9日 営巣確認



3月25日 抱卵確認



4月24日 ヒナ誕生

5月1日 純野生ヒナ誕生



5月25日 巣立ち

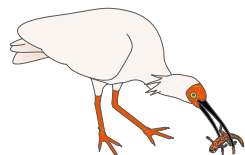
5月26日 純野生巣立ち



※日付はいずれも初確認日。

トキの繁殖期モニタリングは、トキ特有の羽色変化が見られる12月中旬頃から始まり、ヒナが巣立つ7月中旬頃まで、約半年間にわたる調査です。

トキが野生下で繁殖し、個体数が順調に増加しているのも、地域の皆様をはじめとする多くの方の支えがあってこそです。トキ野生復帰にご協力いただき、本当にありがとうございます。



草刈り作業のお知らせ



2020年8月30日（日）に、トキの水辺づくり協議会主催による草刈作業が生椿で実施されます。参加を希望される方は、トキの水辺づくり協議会・板垣代表（090-2213-8882）までお問い合わせください。（申し込み締め切り：8月20日まで）

【集合日時、場所】2020年8月30日(日)午前9時、トキ交流会館

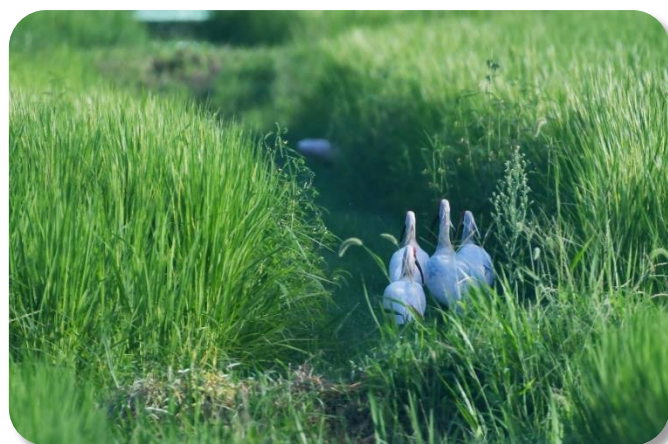


美しい稲穂が秋の訪れを感じさせる季節となりました。繁殖期が終わってから約2か月。トキたちの様子はどうでしょうか。

佐渡島内のトキの動き(2020年8月)

トキを支える「緑のあぜ」

田んぼを主なエサ場とするトキは、季節によりエサ場を変えます。春の田植え前後や秋の稲刈り後は、エサがとりやすいため、たくさんのトキが田んぼに入ります。一方、夏は稲が生長するため、田んぼの中に入ることができなくなります。そんな時に利用するのが「**あぜ**」です。



▲▼あぜで採餌するトキの群れ



佐渡では農家の方の努力により、草刈りによって「緑のあぜ」が保たれている場所が多くあります。除草剤を使わず、ミミズやバッタなどたくさんの生き物がすめる「緑のあぜ」は、トキにとって重要なエサ場の1つです。佐渡の田んぼを見られる際は、ぜひ「緑のあぜ」にも注目してみてください。

群れの季節がやってきた！

繁殖期はペアで行動していたトキは、繁殖期が終わると群れを形成します。佐渡では、70羽程が1つのねぐらを利用するなど、集団で行動する様子が観察されています。



トピック ～野生のトキを観察したい方へ～

トキが群れで行動する8～12月は、野生下のトキを比較的観察しやすい時期です。野外でトキを観察する際は、「トキのみかた(※)」に示している地域やトキに配慮した観察をお願いします。

トキのみかた

～やさしい見方で
あなたもトキの味方に～

- ①トキに近づかず、静かに見守りましょう。
- ②地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断で入らないようにしましょう。
- ③車から降りずに観察しましょう。（通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤繁殖期間（2月～6月）は、巣に近づかないようにしましょう。

※「トキとの共生ルール」などをもとに、トキの適切な観察方法などを整理したもの。



よくある質問コーナー



Q.トキを観察しやすい時間は？

A.ねぐら出する早朝、ねぐら入りする夕方が観察しやすいです。

トキのテラスの屋上は24時間ご利用いただけますので、早朝や夕方にもぜひご利用ください。

Q.トキを見つけた場合、どれくらい離れたらいいの？

A.これまでの観察結果より、約150m離れていれば、あまり警戒しないことがわかっています。



約**150m**（田んぼの長辺1.5枚分が目安です）



トキは野生動物であり、簡単に人間に姿を見せてくれないことも事実です。だからこそ、野生のトキを見られた瞬間の感動は大きいものです。佐渡の美しい里地里山の風景を楽しみながら、トキをじっくり観察してみてはいかがでしょうか。

佐渡自然保護官事務所公式SNSでは、
野生下のトキの最新情報などを掲載しています。



心地よい秋の風が吹くなか、佐渡では稲刈りが最盛期を迎えています。

この時期は、トキが刈田に集まり、採餌する風景が見られます。

佐渡島内のトキの動き（2020年9月）



第23回放鳥を行いました！

9月18日（金）、佐渡市生椿（はえつばき）地区の棚田にて、9羽のトキをハードリリース方式により放鳥しました。



▲放鳥箱より放鳥されたトキ



▲生椿の棚田上空を飛翔するNo.415

生椿は、かつて日本産トキが生息していた場所であり、1946年よりトキの保護活動が実施されている場所です。放鳥当日は約50名の方が見守る中、放鳥箱よりトキが放鳥され、多くの感動の声が聞かれました。

9月24日（木）に残り7羽を順化ケージからソフトリリース方式により放鳥しました。飛翔したトキの多くは旋回して周辺の林にとまりました。第23回放鳥個体の今後の動きに注目です。



▲順化ケージより飛翔したトキ



▲枯木にとまるNo.426(左)、415(右)

トピック ～ねぐら出一斉カウント調査～

環境省では、集団ねぐらを利用するトキが多くなる9月と11月に、島内各地のねぐらから飛び立つトキを数える「ねぐら出一斉カウント調査」を実施しています。



今回は、市民ボランティアの方々、人・トキの共生の島づくり協議会の構成団体のご協力により、9月8日～10日にかけて島内36か所のねぐらを延べ62人で調査した結果、26か所から計**420羽**を確認しました。

トキに関するニュース

- 9月3日 羽茂小学校4年生19名に、「トキの生態とトキの棲む環境」についてお話をしました。
- 9月30日 第4回分散飼育地等連絡会議・第18回トキ野生復帰検討会をWeb会議にて開催しました。
- 10月22日 佐渡市主催「令和2年度トキガイド養成講座」の一環として、18時半よりトキのむら元気館にて、環境省よりトキ野生復帰の取組についてお話をします。

アクティブ・レンジャー写真展 ～国立公園・野生生物の姿～

アクティブ・レンジャーとは、自然保護官の補佐役として、国立公園や希少野生生物の現地管理業務を行う環境省職員であり、関東地方環境事務所管内では13地区21名が活動しています。この写真展では、各地区に配置された「アクティブ・レンジャー」が撮影した一コマをご紹介します。ぜひお立ち寄りください。

場所：佐渡汽船両津港ターミナル2階待合室（新潟県佐渡市両津湊353番地）
期間：2020年10月5日（月）～10月23日（金）



佐渡島のトキや、都心より遥か1,000kmの小笠原諸島の青い海など、多種多様な自然が写った写真がたくさん！ご来場お待ちしております。



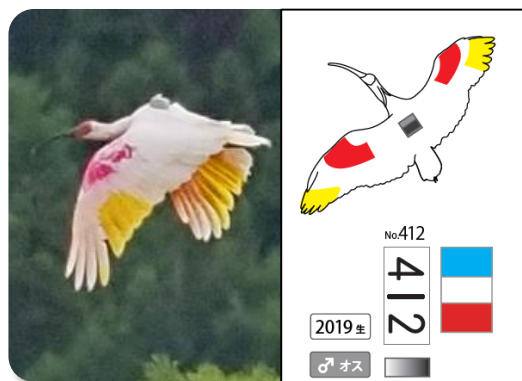
秋がぐっと深まり、佐渡も紅葉が美しい時期となりました。9月の第23回放鳥から1か月。今回の放鳥されたトキの動きはどうでしょうか。

佐渡島内のトキの動き（2020年10月）

第23回放鳥トキは今どこに？



▲新穂地区を飛翔するNo.419（第23回放鳥）



9月に、かつて日本産トキが生息していた生椿で、そして野生復帰ステーション順化ケージより、計16羽を放鳥して1か月余り。放鳥日以降、16羽中11羽が観察されています。多くは島内の群れに合流していますが、真野地区で行動している個体や真野地区と羽茂地区を往復する個体もいます。

放鳥トキには、遠くからでも識別できるよう、羽の一部に色を塗っています。放鳥トキを見かけましたら、トキ目撃情報フリーダイヤル（0120-980-551）まで目撃情報をお送りください。ご協力をお願いします。

WEBからもお送りいただけます！トキ目撃情報入力フォームはこちら⇒



トキが教えてくれること

トキはドジョウやミミズ、バッタやイモリなど、色々な生きものを食べています。



上の写真のように、私達はトキを通して自然の豊かさを知ることができます。佐渡では、トキ野生復帰をきっかけに多様な生きものを育む取組が進められており、佐渡の皆様を支えられて、現在は450羽程度のトキが野生下に生息しています。

トピック ～トキの分散飼育と移送～

トキの飼育施設は、佐渡以外に**4か所**あります（多摩動物公園、いしかわ動物園、長岡市トキ分散飼育センター、出雲市トキ分散飼育センター）。鳥インフルエンザ等の感染症のリスク回避などのため、分散して飼育繁殖を行っています。



▲移送の様子



▲佐渡から出雲へ。
行ってらっしゃい！

この時期、次の放鳥や繁殖ペアの候補として分散飼育地から佐渡へ、今年生まれた幼鳥が移送されます。また、繁殖を期待されて佐渡から分散飼育地へ移送される個体もあります。各地で育ったトキやその子孫が、佐渡の空をはばたい

トキ関連ニュース

- 10月3日 「朱鷺と暮らす郷×田んぼアート」の稲刈りが行われました。
- 10月8日 日本の生態系を取り戻す議員連盟が生態系に配慮した佐渡の農業の視察を行い、トキのテラスも視察しました。
- 10月12日 佐渡高校2年生が野生復帰ステーションを見学しました。
- 10月14日 新穂中学校1年生がトキのテラスを見学しました。
- 10月22日 新穂小学校3年生が野生復帰ステーションを見学しました
- 同 日 佐渡市主催「令和2年度トキガイド養成講座」の一環として、環境省よりトキ野生復帰の取組について説明しました。



▲稲刈りイベント



▲（左から順に）佐渡高校、新穂中学校、新穂小学校による見学の様子

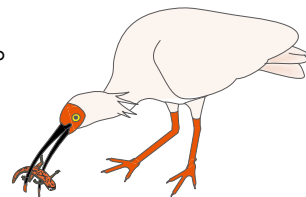


トキの島からのお願い

トキが群れで行動する秋から冬は、トキを観察しやすい季節です。

トキを観察する際は、トキの適正な観察方法「トキのみかた」

を確認いただき、思いやりの心をもった観察をお願いします。



トキの
みかた

- ① トキに近づかず、やさしく静かに見守りましょう。
- ② 地域に迷惑をかけないようにしましょう。農地へ無断ではいらないようにしましょう。
- ③ 車から降りずに観察しましょう。（ただし、通行の妨げにならないようにしましょう）
- ④ 大きな音や光を出さないようにしましょう。
- ⑤ 繁殖期（2月～6月）は、巣に近付かないようにしましょう。





トキから版



環境省
Ministry of the Environment

佐渡自然保護官事務所
TEL : 0259-22-3372

令和2年12月1日・第99号

佐渡最高峰である金北山(1171.9m)の冠雪が見られるようになり、本格的な冬が始まろうとしています。佐渡のトキも冬に向けた準備をしているようです。

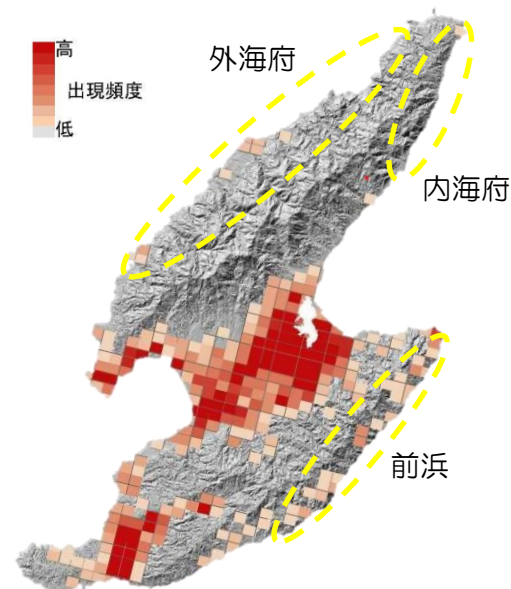
佐渡島内のトキの動き(2020年11月)

11月のねぐら出一斉カウント調査



▲金井地区を飛翔するトキの群れ

9月に続き、島内各地のねぐらから飛び立つトキを数える「ねぐら出一斉カウント調査」を11月17～20日に実施しました。今回は、**24**か所のねぐらで計**388**羽のねぐら出を確認しました。島内の生息個体数は推定**458**羽であり、今回の調査で**8割**程度を確認できたことになります。



▲島内のトキ生息分布。色が濃いほど、多くのトキが生息しています。

確認できなかった残りの2割はどこにいるのでしょうか。トキの個体数増加とともに生息域も広がり、観察されていないねぐらの存在が考えられます。もしかしたら、あなたの家の近くがトキのねぐらになっているかも…。特に、外海府、内海府、前浜など普段トキを見かけない地域でトキを見かけましたら、**目撃情報フリーダイヤル0120-980-551**または**トキ目撃情報入力フォーム**まで情報をお寄せください！

トキ目撃情報入力フォームはこちら



あと、もうちょっと…！

トキは、くちばしの先を器用に使い水や泥の中からエサを探します。こちらのトキは何かを見つけたようですが、なかなか取り出せないのか、なんと首が180度回ってしまったようです。

一生懸命さが伝わる1枚でした。(この後、無事にエサを取り出せていました。トキのねばり勝ち！)



◀いつものエサをとる姿。赤い顔もこちらを向いています。



▶のどが正面、赤い顔が後ろ側に向いています。



写真中央がコハクチョウ。

トキが刈田にて採餌するなか、近くにやってきた1羽の**コハクチョウ**。この時期になると、コハクチョウやヒシクイなどの大型水鳥が、遙か遠いシベリアから佐渡にやってきます。その距離なんと約**4000km**！佐渡は越冬地までの旅の立ち寄り場所であり、彼らは飛び続けて疲れた羽を休めているのです。

佐渡のように、エサとなる生きものが豊かな環境は、渡り鳥にとって次の旅に向けての体力を回復できる、まさにオアシスのような場所なのです。

トキ関連ニュース

- 11月18日 佐渡市世界農業遺産推進会議が開催され、活発な意見交換が行われました。
- 11月23日 新潟県愛鳥センター主催の愛鳥講演会にて、環境省より「希少鳥類を守る取組と私たちができること」と題して講演しました。
- 11月24日 佐渡市生物多様性佐渡戦略推進会議が開催され、翌日はトキのテラスにて現地視察が行われました。
- 12月2,3日 人・トキの共生の島づくり協議会部会が開催されます。
- 12月15日 人・トキの共生の島づくり協議会総会が開催されます。



▲愛鳥講演会の様子



▲現地視察の様子

来月号のお知らせ

2012年10月より始まった「トキかわら版」は、多くの方に支えられ、2021年1月で創刊100号を迎えます。いつも「トキかわら版」をお読みいただき、ありがとうございます。100号を記念し、来月号は少し特別な「トキかわら版」をお届けする予定です。お楽しみに！

